



第2章 東京 2020 大会における 立川市の取り組み

東京2020大会における立川市の取り組み 活動年表

	平成27（2015）年度	平成28（2016）年度	平成29（2017）年度
オリンピック・パラリンピック		リオ大会	デフリンピック 平昌大会
取組方針	取組方針の策定準備 → 取組方針の策定 →		
立川市にゆかりのある選手の応援	近代3種大会・レーザーラン大会の開催、広報・ツイッター等での情報発信、表敬訪問、		
	●高宮選手 表敬訪問	●高宮選手 リオ大会壮行会 ●高宮選手 表敬訪問 ●高宮選手 市民表彰、教育委員会表彰 ●高宮選手 第九中学校講演会 ●関根選手 表敬訪問、教育委員会表彰	●岡田選手 表敬訪問、市民
気運を醸成するイベントの開催	東京都や組織委員会と連携したイベントの開催や、緑化まつり・		
		●リオライブサイト ●フラッグ歓迎セレモニー	●平昌
展示の実施	東京1964大会関連展示、東京2020大会気運醸成展示、ベラルーシ		
東京2020エンブレムや 東京2020マスコットの活用	東京2020マスコットや東京2020エンブレムを活用した普及啓発事業の実施 / ポスターや		
		●東京2020公式オリジナル商品販売開始	●マスコット投票宣言 ●小学生投票
事前キャンプ	ホストタウン登録、事前キャンプ誘致に向けた調整		
	●東京都、組織委員会、全国知事会の事前キャンプガイドに登録 ●立川市版事前キャンプガイド作成	●フィンランドオリンピック	
聖火リレー	東京1964大会 聖火リレーの検証 →		実施に向けた
スポーツの推進	障害者スポーツを含むスポーツの普及啓発事業の実施 /		
	スポーツ環境の整備 /		
来街者を受け入れる環境の整備		来街者に向けた情報発信力の強化 /	
		来街者を受け入れる環境の充実 /	
	「おもてなし力」向上の取り組み /		
オリンピック・パラリンピック教育の推進	教育プログラムの実施		
文化プログラムの推進	シアタープロジェクト等の先行事業 →		文化プログラムの本格的実施への対応 /

平成30（2018）年度	平成31（2019）年度	令和2（2020）年度	令和3（2021）年度
		東京2020 大会延期	東京2020 大会
各取組の実施			取組報告
表彰、横断幕・懸垂幕の掲出、展示、練習場所の提供 ほか			
表彰、教育委員会表彰 ・新生小学校訪問			●江村選手表敬訪問 教育委員会表彰（高宮選手、江村選手、島村選手、吉田選手、長谷川選手） 長谷川選手 表敬訪問、市民表彰
たちかわ楽市・くらしフェスタ立川等の市域のイベントを活用した気運醸成			
ライブサイト		●モザイクアートプロジェクト	●聖火リレータッチ巡回展示
新体操チーム関連展示、市にゆかりのある選手を応援・紹介する展示 ほか			
のぼり旗、横断幕等の掲出、カウントダウンボードの掲出、ピンバッジの配布 ほか			
●「2020賞」受賞第十小学校にマスコット訪問	●JOCオリンピック 支援自動販売機設置	シティドレッシング	
	●商店街にフラッグ掲揚		●立川駅周辺に横断幕等の装飾
事前キャンプの実施		実施に向けた調整	
●ベラルーシ新体操チーム視察 委員会視察	●ベラルーシ駐日大使表敬訪問 ●ベラルーシのホストタウンとして登録		●ベラルーシ新体操チームの取材・情報発信 協定先の宮城県白石市で事前キャンプ実施 ●パンナム事前キャンプ
	●協議会と事前キャンプ実施について協力の協定を締結 ●SAKURA CAMP in TACHIKAWA 新体操交流会		
調整	実施に向けた準備		実施
	●聖火リレーの立川市走行が決定 ●聖火リレー詳細ルート・ランナーの公表		●走行ルート・交通規制の事前説明 ●公道走行中止の決定 ●点火セレモニー、採火式等の実施
トップアスリートによる競技指導、障害者スポーツ教室、東京都市町村ポッチャ大会の開催 ほか			
市民体育館におけるスポーツ環境の整備、屋外スポーツ施設の改修			
観光案内機能の活用、観光ガイドマップ等の活用 ほか			
公衆無線LANの整備、立川駅周辺の案内サイン整備、立川駅周辺案内マップの作成、環境美化の取り組み ほか			
外国人おもてなし語学ボランティアを含むボランティアの育成、多文化共生の意識や国際理解の促進 ほか			
大会ボランティア等募集への対応			
（東京都オリ・パラ教育推進校事業 ほか）			
立川シアタープロジェクト、アール・ブリュットの支援、ファーレ立川アートミュージアム・デー ほか			

第2章 東京2020大会における立川市の取り組み

東京2020大会の開催に向けては、スポーツの振興や健康づくりのみではなく、産業や観光、文化、教育、まちづくりなど幅広い分野で長期的、持続的な効果をもたらす有形・無形のレガシー（大会後も長く残る変化や革新）の創出が期待されてきました。

本章では、大会後も引き継がれるレガシーの創出に向けて策定した「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた立川市の取組方針」に基づき、関係者・関係団体の皆様と連携しながら進めてきた、個別の取り組みについてご紹介いたします。

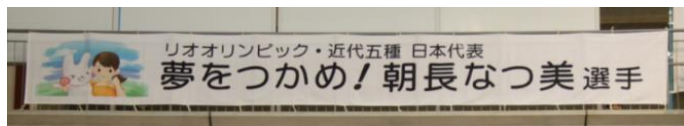
1 立川市にゆかりのある選手の応援

広報やホームページ、ツイッターを活用して選手の情報を発信したほか、市域の関係団体と連携して壮行会や報告会、応援メッセージ動画の制作、応援展示等を実施し、ゆかりのある選手を応援することで、市民の心に残る取り組みとしました。

内容	詳細
オリンピック・パラリンピック、デフリンピック出場選手の応援	P. 11
高宮（旧姓：朝長）なつ美 （たかみや（ともなが）なつみ）選手	P. 12
江村 美咲（えむら みさき）選手	P. 16
島村 智博（しまむら ともひろ）選手	P. 16
吉田 健人（よしだ けんと）選手	P. 17
長谷川 勇基（はせがわ ゆうき）選手	P. 17
関根 花観（せきね はなみ）選手	P. 18
岡田 海緒（おかだ みお）選手	P. 19
ゆかりのある選手を応援する競技観戦	P. 20
コミュニティライブサイト（パブリックビューイング）	P. 21
近代3種大会・レーザーラン大会の開催	P. 23

オリンピック・パラリンピック、デフリンピック出場選手の応援

- 広報たちかわ、ホームページ、ツイッターを活用した情報発信
- 横断幕・懸垂幕の市役所等への掲出
- 選手に伝える応援メッセージ動画の制作
- 必勝祈願だるまによる応援
- 「選手を紹介」「選手を応援」する展示
- 表敬訪問や壮行会、報告会の開催
- 練習場所の提供
- 選手の表彰 ほか



横断幕や懸垂幕の掲出



応援メッセージ動画の制作



選手を応援する展示



広報たちかわ 7月25日号
(令和3(2021)年)



必勝祈願だるまによる応援



表敬訪問の実施

高宮（旧姓：朝長）なつ美（たかみや（ともなが）なつみ）選手

競技	近代五種
ゆかり	市内在勤（警視庁第四機動隊） ※リオ 2016 オリンピック当時は市内に在住
主な成績	・リオ 2016 オリンピック 12 位 ・アジア・オセアニア選手権大会（令和元（2019）年） 2 位 →東京 2020 オリンピック出場権獲得 ・東京 2020 オリンピック 34 位

内容

警視庁第四機動隊（立川市）に所属する高宮選手は、警視庁入庁後、平成 24（2012）年から近代五種をはじめ、わずか 2 年で全日本選手権において優勝しました。

また、競技歴 4 年ほどで初出場したリオ 2016 オリンピックでは、日本人過去最高位となる 12 位の成績を収めました。その後、アジア・オセアニア選手権大会（令和元（2019）年）で 2 位となったことから、東京 2020 大会の出場権を獲得し、同大会では個人 34 位の成績を収めました。なお、東京 2020 大会をもって現役を引退されました。



提供：日本近代五種協会

東京 2020 大会後のコメント

皆さまの温かい応援が心に響き、最後まで走りぬく力となりました。近代五種人生のほとんどを過ごした立川市は、たくさんの思い出が詰まった大切な街です。今まで本当にありがとうございました。

【主な取り組み】

- 表敬訪問
- 近代五種紹介パネルの作製
- 横断幕・懸垂幕の掲出
- 市域一丸となった壮行会
- 市民表彰、教育委員会表彰
- 競技や選手を紹介する展示の実施
- 立川第九中学校講演会の実施
- くるりんコラボデザイン、
近代五種くるりんの作製
- 近代 3 種大会・レーザーラン大会の開催
- きらり・たちかわ特集記事の掲載
- 応援展示・メッセージツリーの作製
- 練習場所の提供（泉市民体育館プール）
- 応援メッセージ動画の制作
- メッセージツリー・必勝祈願だるまの贈呈



提供：日本近代五種協会



提供：日本近代五種協会



提供：日本近代五種協会

近代五種とは??

1人の選手が1日の間に、フェンシング、水泳、馬術、レーザーラン（射撃・ラン）という、それぞれに全く異なる5種類の競技に挑戦する、「キング・オブ・スポーツ」とも呼ばれる複合競技です。



市域一丸となった壮行会（平成 28（2016）年 7 月 21 日）

リオ 2016 オリンピックに出場される高宮選手を応援するため、市役所で壮行会を開催しました。



「メダルを目指して全力で頑張ります」と熱い決意表明



立川第九中学校の生徒たちから花束・メッセージ集の贈呈



壮行会参加者、市民、市職員が一体となって拍手でお見送り

立川第九中学校講演会の実施（平成 29（2017）年 1 月 17 日）

壮行会で交流した立川第九中学校で講演会を行い、近代五種を始めたきっかけやオリンピックの体験談をお話いただきました。

立川第九中学校からは応援メッセージビデオの放映や花束の贈呈があり、高宮選手からは感謝の気持ちとして、リオ 2016 オリンピックの記念皿が寄贈されました。



射撃（レーザーピストル）の実演



生徒全員でお見送り



リオ 2016 オリンピックの記念皿

近代3種大会・レーザーラン大会の開催

高宮選手の応援をきっかけに日本近代五種協会と連携し、近代五種の登竜門である近代3種大会を開催しています。平成30（2018）年10月に行われた近代3種大会では、高宮選手からメダルの授与などが行われ、参加選手と交流を図りました。



高宮選手からメダルの授与



大会後に出場選手の皆さんと



市役所屋上で「くるりん」と



「くるりん」とのコラボデザイン

応援展示・メッセージツリーの作製（令和3（2021）年4月7日～16日）

市役所にて応援展示を実施し、高宮選手の経歴や競技のルールなどを周知するとともに、応援メッセージを市民から募集しました。



応援展示



応援メッセージを募集

応援メッセージ動画の制作（令和3（2021）年5月～7月）

立川第六中学校や第五小学校、第九小学校、応援展示にいらしていた市民の皆さんにご協力をいただき、応援メッセージ動画を制作しました。



立川第六中学校 有志の皆さん



第五小学校 代表委員会の皆さん



第九小学校 和太鼓クラブの皆さん



「くるりん」と「ウドラ」もかけつけてくれました

メッセージツリー・必勝祈願だるまの贈呈（令和3（2021）年7月14日）

展示で募集したメッセージでメッセージツリーを作製し、応援メッセージ動画、必勝を祈願して作っただるまとともにお渡ししました。



たくさんの方のメッセージで
素敵なツリーができました



必勝祈願だるまに目入れをしていただきました

江村 美咲（えむら みさき）選手

競技	フェンシング サーブル
ゆかり	市内企業所属
主な成績	東京 2020 オリンピック 個人 13 位、団体 5 位
内容	
市内の企業に所属する江村選手は、平成 30 (2018) 年、令和元 (2019) 年全日本選手権連覇、また国際大会では令和 2 (2020) 年アテネワールドカップで個人銅メダルを獲得し、初めてのオリンピック出場を果たしました。父親はソウル 1988 オリンピックに出場した経歴の持ち主で、親子 2 代での五輪代表となりました。	
【主な取り組み】 ○表敬訪問 ○横断幕の掲出 ○教育委員会表彰 ○展示の実施	
 Photos : Augusto Bizzi/EXDREAMSPORTS Inc.	
 提供：日本フェンシング協会	
東京 2020 大会団体 1 回戦 チュニジア選手と対戦	

島村 智博（しまむら ともひろ）選手

競技	フェンシング サーブル
ゆかり	市内在勤（警視庁第四機動隊）
主な成績	東京 2020 オリンピック 個人 34 位、団体 9 位
内容	
警視庁第四機動隊（立川市）に所属する島村選手は、令和元 (2019) 年のワールドカップ等の成績により、初めてのオリンピック出場を果たしました。なお、東京 2020 大会後の全日本選手権に出場後、現役引退を表明されました。	
【主な取り組み】 ○横断幕の掲出 ○教育委員会表彰 ○展示の実施	
 (c)日本フェンシング協会：Augusto Bizzi/FIE	
 提供：日本フェンシング協会	
東京 2020 大会個人 1 回戦 アメリカ選手と対戦	

吉田 健人（よしだ けんと）選手

競技	フェンシング サーブル
ゆかり	市内在勤（警視庁第四機動隊）
主な成績	東京 2020 オリンピック 個人 33 位、団体 9 位
内容	
警視庁第四機動隊（立川市）に所属する吉田選手は、令和元（2019）年の世界選手権で 16 位となったこと等から、初めてのオリンピック出場を果たしました。 東京 2020 大会後に行われた男子サーブル・オルレアングランプリにおいて、吉田選手は銅メダルを獲得し、ワールドカップ・グランプリ大会を通じ、男子サーブルでは日本史上初のメダル獲得の快挙を成し遂げました。	
【主な取り組み】 ○横断幕の掲出 ○教育委員会表彰 ○展示の実施	
 (c)日本フェンシング協会：Augusto Bizzi/FIE	
 提供：日本フェンシング協会	
東京 2020 大会個人 1 回戦 ベネズエラ選手と対戦	

長谷川 勇基（はせがわ ゆうき）選手

競技	車いすラグビー
ゆかり	市内在住
主な成績	東京 2020 パラリンピック 第 3 位 銅メダル獲得
内容	
市内在住の長谷川選手は、高校 3 年生の時に頸髄を損傷。20 歳のときに車いすラグビーを始めました。障害の程度が最も重い、持ち点 0.5 点のローポインターとして、的確なプレーでチームを支えます。 東京 2020 大会では、ボールのないところでの動きはもちろんのこと、0.5 点の選手の中でもボールを扱える選手として攻撃の幅を広げ、日本の銅メダル獲得に大きく貢献しました。	
【主な取り組み】 ○表敬訪問 ○横断幕・懸垂幕の掲出 ○市民表彰、教育委員会表彰 ○展示の実施	
	
東京 2020 大会 強豪オーストラリアと対戦	
	

表敬訪問、市民表彰（令和3（2021）年12月1日）

東京2020大会の出場を受け、市長を表敬訪問されました。同日、市民にたくさんの勇気と感動を与えていただいた長谷川選手に、市民表彰を行いました。



表敬訪問で市長と



東京2020パラリンピック
大会銅メダル

関根 花観（せきね はなみ）選手

競技	陸上
ゆかり	市内在勤（リオ2016オリンピック当時）
主な成績	・日本陸上競技選手権大会（平成28（2016）年） 10000m 2位 ・リオ2016大会 10000m 20位 ・名古屋ウィメンズマラソン（平成30（2018）年）3位（日本人1位）

内容

市内在勤（リオ2016オリンピック当時）の関根選手は、中学校時代に陸上競技をはじめ、平成26（2014）年には、自身初の国際大会となる第16回アジアジュニア陸上競技選手権大会女子3000mに出場し、銀メダルを獲得しました。

平成28（2016）年に行われた日本陸上競技選手権大会女子10000mで2位となったことにより、リオ2016オリンピック女子10000mの日本代表選手に選出され、同大会で20位の成績を収めました。

なお、令和2（2020）年12月をもって、現役を引退されました。



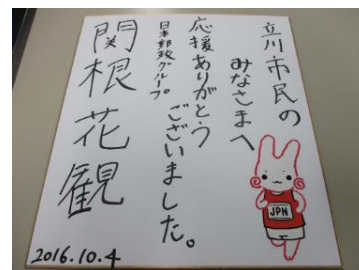
提供：日本郵政（株）

【主な取り組み】

- 表敬訪問
- 教育委員会表彰



表敬訪問で市長と



市民の皆さんへお礼のメッセージ

岡田 海緒（おかだ みお）選手

競技	陸上
ゆかり	市内在住
主な成績	・第23回夏季デフリンピック競技大会（平成29（2017）年） 800m 6位、1500m 7位 ・第18回日本デフ陸上競技選手権大会（令和3（2021）年） 800m・1500m 1位

内容

市内在住の岡田選手は、高校生の時に陸上競技をはじめ、全国ろう学校対抗陸上大会の800m・1500mでは3連覇を達成し、平成29（2017）年に行われた第23回夏季デフリンピック大会では、800mで6位、1500mで7位の成績を収めました。

令和4（2022）年5月に行われる第24回夏季デフリンピック競技大会日本代表に内定しています。



※デフリンピックは4年に1度、世界中から聴覚障害のあるアスリートが集まる国際スポーツ大会。聴覚障害アスリートにとってのオリンピックといえます。

【主な取り組み】

- 表敬訪問
- 市民表彰、教育委員会表彰
- 新生小学校訪問



第23回夏季デフリンピック
競技大会 1500m決勝

新生小学校訪問（平成30（2018）年2月7日）

岡田選手を講師としてお招きし、競技との出会いや大会に出場して感じたことなどをお話いただきました。講演後にはランニング体験会を開催し、競技の難しさやアスリートのスピードを子どもたちに体感してもらいました。



手話を交えた講演会の様子



子どもたちとランニング体験



体験会后にみんなで記念撮影

ゆかりのある選手を応援する競技観戦

市民に競技観戦の機会を提供することで、ゆかりのある選手を応援するとともに、オリンピック・パラリンピックの感動を間近に体験し、心に長く残るレガシーとすることを目的としました。

なお、無観客開催となったことにより、会場での競技観戦は中止となりました。



東京 2020 大会の観戦チケット

市で確保したチケット

【オリンピック】

- ・近代五種 [東京スタジアム] 165 席
- ・新体操 [有明体操競技場] 200 席
- ・バドミントン [武蔵野の森総合スポーツプラザ] 68 席

【パラリンピック】

- ・5人制サッカー [青海アーバンスポーツパーク] 25 席
- ・陸上 [オリンピックスタジアム] 30 席

※上記のほか、学校観戦チケットによる小中学生の観戦事業が全校で実施される予定でした。

【主な取り組み】

○市民に向けてチケットを抽選販売（令和3（2021）年6月1日～16日）

競技観戦チケットの募集について、広報たちかわ5月25日号に掲載するとともに、応募チラシを小中学校の児童・生徒へ配布しました。また、立川商工会議所、立川市商店街振興組合連合会、立川市体育協会などの関係団体に配架のご協力をいただき、はがき総数511枚、合計930人分の応募がありました。

○当選者へチケットを引き換え（令和3（2021）年7月6日～13日）

市役所で当選者への引き換えを開始しましたが、引き換え期間中の7月8日、東京2020オリンピックの無観客開催が決定したことから、当選者に対して販売中止の連絡をするとともに、引き換え済みの方に対しては返金手続きを行いました。

コミュニティライブサイト（パブリックビューイング）

競技中継に加え、ステージイベントや装飾等を行うコミュニティライブサイトは、競技会場に足を運べない市民にも東京 2020 大会を体感できる場を提供するとともに、ゆかりのある選手の応援や、気運を醸成することを目的としました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、東京都がライブサイト等中止したことなどを受け、市においても、市民の命と健康を守ることを第一に考え、中止としました。

※上記のほか、オリンピック期間中に、立川競輪場で「パブリックビューイング」も開催予定でした。



国営昭和記念公園でのリオ 2016
オリンピック ライブサイトの様子

開催を予定していた内容

- ・ 日程：【オリンピック】
令和 3（2021）年 7 月 31 日、8 月 1 日
令和 3（2021）年 8 月 7 日、8 月 8 日
【パラリンピック】
令和 3（2021）年 8 月 28 日、8 月 29 日
- ・ 場所：たましん R I S U R U ホール
- ・ 内容：競技中継、会場装飾
- ・ 備考：組織委員会が示した新型コロナウイルス感染症対策の指針に基づき、3 密の回避や飛沫・接触感染の防止等の措置を講じるとともに、事前申込制や来場者の連絡先把握などの措置を新たに計画し、準備を進めました。

【主な取り組み】

- 放映競技の決定、会場装飾計画の策定
- 来場者募集に向けたチラシの作製
- 警察・消防等関係機関との調整
- 事業中止の決定

令和 3（2021）年 7 月 7 日より募集を開始するよう準備を進めていましたが、同年 6 月 19 日、東京都は都内でのライブサイト及びパブリックビューイングについて全て中止することを決定しました。市においても、市民の命と健康を守ることを第一に考え、中止を決定しました。

近代3種大会・レーザーラン大会の開催

高宮なつ美選手の応援や交流をきっかけに、日本近代五種協会と連携し、近代五種への登竜門と位置づけられている近代3種（水泳・射撃・ランニング）と近代2種（射撃・ランニング、レーザーランともいう）の大会を、平成30年度から毎年開催してきました。

実際に競技を体験することで、近代五種への興味を深め、オリンピックでの高宮選手の応援や気運醸成につなげ、東京2020大会のレガシーとして、引き続きスポーツに親しむ機会を提供することにつながりました。

【主な取り組み】

- 参加料を無料とした市民枠の設置
- 各学年1位の選手に対する市長賞の授与
- 立川市陸上競技協会及び立川市水泳協会との連携

【令和3年度の大会開催】※詳細は資料編P.90 参照

・ジャパンレーザーランシリーズ 2021 ファイナル立川大会

日程：令和3（2021）年10月10日

競技：近代2種（射撃・ランニング）

会場：立川公園陸上競技場

対象：小学校3年生以上の男女

参加者数：112名（うち立川市の小中学生44名）

・第9回近代3種日本選手権大会 兼 第16回JOCジュニアオリンピックカップ

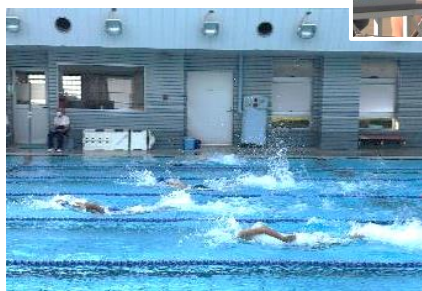
日程：令和3（2021）年11月6日、7日

競技：近代3種（水泳・射撃・ランニング）

会場：柴崎市民体育館、立川公園陸上競技場

対象：小学校3年生以上の男女

参加者数：60名（うち立川市の小中学生4名）



2 気運を醸成するイベントの開催

市民がオリンピック・パラリンピックを身近に感じることができるように、様々なイベントを開催し、気運を醸成しました。

イベント	詳細
東京都や組織委員会と連携したイベントの開催	P. 25
「NO LIMITS CHALLENGE」における競技体験や展示	P. 25
「東京 2020 ライブサイト in 2016 - リオから東京へ -」 におけるステージ出演等	P. 26
東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー における歓迎セレモニーや展示	P. 27
都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト	P. 28
東京 2020 ライブサイト in 2018 におけるステージ企画、 ワークショップの出展	P. 28
オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ巡回展示	P. 29
市域のイベントを活用した気運醸成	P. 30
緑化まつりにおける障害者スポーツ体験会や展示	P. 30
たちかわ楽市における障害者スポーツ体験やオリンピック のステージ出演	P. 31
くらしフェスタ立川における気運醸成の展示	P. 32
立川市・自治大学校 市民公開講座	P. 32
東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座	P. 33
モザイクアートプロジェクト	P. 34

東京都や組織委員会と連携したイベントの開催

東京都や組織委員会と連携し、広く人が集まるイベントにおいて競技体験や展示などを行いました。

NO LIMITS CHALLENGE における競技体験や展示

日時	①【たちかわ楽市】平成 27（2015）年 11 月 7 日 ②【立川よいと祭り】平成 30（2018）年 8 月 4 日
場所	①国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーン ②サンサンロード（多摩都市モノレール高架下）
内容	
「NO LIMITS CHALLENGE」は、パラリンピックの競技体験や、パラアスリート等のゲストによるトークショー、競技紹介パネルや競技用具の展示など、パラリンピックの魅力を体験・体感できる東京都のプログラムです。パラリンピックの魅力を体感いただくことで、大会開催の気運醸成を図りました。 【主な取り組み】 ○たちかわ楽市 ・車いすバスケットボールの体験会、障害者スポーツの展示  車いすバスケットの体験会  障害者スポーツの展示 ○立川よいと祭り ・パワーリフティングや馬術（シミュレーション）の体験会 ・パラリンピック競技写真パネルの展示  パワーリフティングの競技体験  馬術の体験会・展示	

「東京 2020 ライブサイト in 2016 - リオから東京へ - 」におけるステージ出演等

日時	【オリンピック期間】 平成 28（2016）年 8 月 6 日、7 日、11 日～14 日、21 日 ※開催が予定されていた 8 月 20 日、22 日は荒天のため中止 【パラリンピック期間】 平成 28（2016）年 9 月 10 日、11 日、17 日～19 日
場所	国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーン

内容

リオ 2016 大会の期間中、東京都と組織委員会は、「東京 2020 ライブサイト in 2016 - リオから東京へ - 」を開催し、大画面による迫力ある競技の生中継に加え、スポーツ教室、競技体験などが行われました。

また、東京都主催の「多摩・島しょサマーフェスティバル - リオ大会をみんなで盛り上げよう！ - 」が同時開催されました。



新体操のオリンピック
秋山エリカさんによるトークショー

【主な取り組み】

○アスリート等によるトークショー、演技披露



東京女子体育大学・短期大学
ジュニア・ユース新体操クラブによる演技披露



東京女子体育大学・短期大学
ストリートダンス部による演技披露

○市を紹介するワークショップの開催（サマーフェスティバル）



「くるりん」や「オニ公園」の滑り台を
モチーフにしたビーズ作品を作製



たくさん子どもたちが参加してくれました

東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアーにおける 歓迎セレモニーや展示

日時	①【フラッグ歓迎セレモニー】 平成 29（2017）年 3 月 11 日 ②【フラッグ・大会関連パネル展示】 ・市役所 1 階多目的プラザ 平成 29（2017）年 3 月 12 日～17 日 ・女性総合センター 1 階ギャラリー 平成 31（2019）年 2 月 16 日、17 日
場所	①国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーン ②市役所 1 階多目的プラザ、女性総合センター 1 階ギャラリー
内容	
オリンピック・パラリンピックフラッグがアンバサダー（オリンピック、パラリンピアン等のアスリート）とともに都内等を巡回するフラッグツアーが開催され、各地でフラッグの到着を歓迎するセレモニーや展示が行われました。 【主な取り組み】 ○フラッグ歓迎セレモニー  市域の関係者の皆様や アンバサダーがフラッグを掲げて記念撮影  東京 2020 大会銀メダリスト 空手の清水希容選手（写真左端） ○フラッグ展示 市役所 1 階多目的プラザでの展示に加え、女性総合センター 1 階ギャラリーで開催された第 17 回くらしフェスタ立川（平成 31（2019）年 2 月 16 日、17 日）の会場で、フラッグ等を展示しました。  市役所 1 階多目的プラザ  女性総合センター 1 階ギャラリー	

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

日時	①【小型家電ボックス・携帯電話専用小型簡易型回収ボックスの設置】 平成 29（2017）年 5 月～平成 31（2019）年 3 月 ②【環境フェアにおける特別回収】平成 29（2017）年 6 月 4 日
場所	①市役所、体育館など市内各所 ②子ども未来センター
内容	
東京 2020 大会の約 5,000 個の金・銀・銅メダルを全国各地から集めたりサイクル金属で作る、国民参画型プロジェクトで、東京 2020 大会をきっかけに持続可能社会の仕組みを作る、組織委員会主催の取り組みです。 立川市における取り組みの結果、約 3 トン分の小型家電及び携帯電話を回収し、これに一般廃棄物収集品の約 131 トン分を加え、金 0.39 kg、銀 1.44 kg、銅 214.6 kgを集めることができました。 【主な取り組み】 ○小型家電ボックス・携帯電話専用小型簡易型回収ボックスの設置 ○環境フェアにおける特別回収	



環境フェアでの特別回収の様子

東京 2020 ライブサイト in 2018 におけるステージ企画、ワークショップの出席

日時	平成 30（2018）年 2 月 12 日、3 月 17 日～18 日
場所	都立井の頭恩賜公園、都立日比谷公園
内容	
平昌 2018 大会期間中、東京都と組織委員会は、「東京 2020 ライブサイト in 2018」を都立井の頭恩賜公園で開催し、大画面による迫力ある競技の生中継に加え、ステージイベント、競技体験などが行われました。 本市は、昭島市とともに自治体ステージを企画、立川よいと祭りにも参加している市民団体「東京カペラ」による YOSAKOI 演舞や東京五輪音頭-2020-を展開し、アスリートや東京 2020 大会に関わる関係者、ボランティアで関わっている方々を応援しました。 また、東京都が都立日比谷公園で開催した「にれの木広場 TOKYOスプリング・フェスタ」において、くるりんデザイン缶の缶バッジを作製するワークショップを出展しました。 【主な取り組み】 ○自治体ステージの実施 ○市を紹介するワークショップの出展	



立川市・昭島市ステージ



「くるりん」に色塗り中

オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ巡回展示

日時	令和3（2021）年4月15日、16日
場所	市役所1階 多目的プラザ
内容	

聖火リレーや東京2020大会の気運醸成を目的に、聖火リレートーチの巡回展示が、都内全62区市町村で行われました。

立川市では令和3（2021）年1月21日、22日に展示の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となり、同年4月15日、16日に実施しました。15日に374人、16日に380人、合計754人の方にご来場いただきました。

モチーフは「桜」

東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレートーチは、日本を象徴する花である「桜」をモチーフにデザインされました。オリンピック聖火リレートーチは「桜ゴールド」、パラリンピック聖火リレートーチは「桜ピンク」にカラーリングされています。素材の一部には、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材が利用されました。



オリンピック
聖火リレートーチ



パラリンピック
聖火リレートーチ



天井部は桜の花びらが
開いているデザイン



貴重な聖火リレートーチを
たくさんの方にご覧いただきました

市域のイベントを活用した気運醸成

市域で開催されるイベントの場を活用して、障害者スポーツの体験会や展示、オリンピックのステージ出演などを行うことで、東京 2020 大会に向けた気運を醸成しました。

緑化まつりにおける障害者スポーツ体験会や展示

日時	平成 27（2015）年度～平成 30（2018）年度
場所	ファーマーズセンターみのれ立川 北側広場

内容

毎年多くの人が集まる「緑化まつり」において、障害者スポーツの体験会や展示を行い、東京 2020 大会への気運を高めるとともに、障害者スポーツの周知・啓発を図り、障害者スポーツを通じて障害のある方への理解を促進しました。

【主な取り組み】

- ブラインドサッカーやボッチャの体験コーナー
- 障害者スポーツ普及啓発に関する展示
- 市民団体の東京カペラによる「東京五輪音頭」や「YOSAKOI」演舞

日程	主な取り組み	体験種目	参加者数 (人)
平成27（2015）年 4月26日	・ブラインドサッカー体験会	ブラインドサッカー	168
平成28（2016）年 4月24日	・パラリンピック競技体験会 ・障害者スポーツ普及啓発ポスター展示 ・市にゆかりのある選手応援ポスター展示	ボッチャ	81
		車いすバスケット	59
		ブラインドサッカー	98
平成29（2017）年 4月23日	・ブラインドサッカー体験会 ・みんなの葉っぱで大きな木をつくろう！ （ブラインドサッカーの感想やオリンピック・パラリンピックへのメッセージを葉っぱ型の付箋に書き、パネルに貼って木を作る取り組み）	ブラインドサッカー	133
平成30（2018）年 4月29日	・みんなで踊ろう！東京五輪音頭-2020-とYOSAKOI 演舞（東京カペラ）	-	-



目隠しをしてブラインドサッカーを体験



東京五輪音頭

たちかわ楽市における障害者スポーツ体験やオリンピックのステージ出演

日時	平成 27（2015）年度～平成 31（2019）年度
場所	国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーン

内容

国営昭和記念公園みどりの文化ゾーンで開催された「たちかわ楽市」において、障害者スポーツ体験や、オリンピックによるトークショーなどを行い、気運を醸成しました。

【主な取り組み】

- 東京ヴェルディによるブラインドサッカー体験会
- 新体操のオリンピック秋山エリカさんのステージ出演
- バレーボールのオリンピック大林素子さんのトークショー

日程	主な取り組み	ブラインドサッカー参加者数（人）
平成27（2015）年 11月7日、8日	・ブラインドサッカー体験会 ・バレーボールのオリンピック大林素子さんによるトークショー ・高宮なつ美選手及び近代五種紹介パネル等の展示 ・「NO LIMITS CHALLENGE」による車いすバスケット及び射撃体験会、障害者スポーツ関連展示	86
平成28（2016）年 11月5日、6日	・東京ヴェルディによるブラインドサッカー体験会 ・新体操のオリンピック秋山エリカさんによるワンポイントアドバイス ・東京女子体育大学ジュニア・ユース新体操クラブによる演技披露	769
平成29（2017）年 11月4日、5日	・東京ヴェルディによるブラインドサッカー体験会	634
平成30（2018）年 11月3日、4日	・東京ヴェルディによるブラインドサッカー体験会 ・立川商工会議所が主催する「【世界ともだちプロジェクト応援事業】2020に向けたポスター・作文コンクール」優秀作品表彰式	600
令和元（2019）年 11月3日、4日	・東京ヴェルディによるブラインドサッカー体験会 ・「世界ふれあい祭」ベラルーシ大使館出展（ベラルーシ・ベラルーシ新体操チーム紹介パネル展示等）	364



立川商工会議所による
【世界ともだちプロジェクト】
ポスター・作文コンクール表彰式



市をホームタウンとして活動する東京
ヴェルディによるブラインドサッカー体験会

くらしフェスタ立川における気運醸成の展示

日時	平成 28 (2016) 年度～平成 30 (2018) 年度
場所	女性総合センター 1 階ギャラリー
内容	
東京 2020 大会に向けた取り組みを紹介するため、パネル展示を行うとともに、資料や啓発用品の配布を行うコーナーを設けました。 【主な取り組み】 ○第 15 回くらしフェスタ立川への出展 (平成 29 (2017) 年 2 月 18 日、19 日) 東京 2020 大会の公式グッズ、映像、市にゆかりのある選手の紹介など、オリンピック・パラリンピック関連の展示を行うとともに、フラッグ歓迎セレモニー実施の告知を行いました。 ○第 16 回くらしフェスタ立川への出展 (平成 30 (2018) 年 2 月 17 日、18 日) 「2020 年の立川」をパネルで紹介したほか、東京 1964 大会のグッズや映像を展示しました。 ○第 17 回くらしフェスタ立川 (平成 31 (2019) 年 2 月 16 日、17 日) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアーの一環で、オリンピック・パラリンピックフラッグやパネル、映像等の展示を行いました。(※再掲・P. 27 参照)	



立川市・自治大学校 市民公開講座

日時	平成 29 (2017) 年度～平成 31 (2019) 年度
場所	総務省自治大学校
内容	
自治大学校と共催し、オリンピック・パラリンピックやスポーツに関することについて、オリンピック、パラリンピアンに講演いただきました。 ○「東京 2020 オリンピック・パラリンピックに私たちは何ができるか」(平成 30 (2018) 年 1 月 28 日) 講師：成田 真由美氏 (アトランタ 1996 大会から北京 2008 大会まで、4 大会連続のパラリンピック出場。水泳で合計 20 個のメダルを獲得し、「水の女王」と呼ばれています。)	



○「スポーツを通じた地域経済活性化～スポーツが変える、未来を創る。～」
(平成 31 (2019) 年 1 月 23 日)

講師：鈴木 大地氏

(スポーツ庁長官 (当時)、ソウル 1988 オリンピック 100m背泳ぎ金メダリスト)

○「特別講演 夢に向かって走る」(令和 2 (2020) 年 2 月 6 日)

講師：猫 ひろし氏 (リオ 2016 オリンピック マラソンカンボジア代表選手)

福岡県立自治大学校・立川市立自治大学校・市民公開講座

スポーツを通じた 地域経済活性化

～スポーツが変える、未来を創る。～

鈴木大地スポーツ庁長官 講演

1988年ソウル五輪100m背泳ぎ金メダリスト
選手(選手)、公益財団法人日本水泳連盟会長
を歴任し、2014年10月から現職

開催日時
1月23日(水) 18:30～20:00
@福岡県立自治大学校・大教室 開場 18:00

申込方法
先着約100名(参加費無料)
@info@fukuoka-u.ac.jp or FAX
要定の必要事項を併記 1月15日(火) まで

お問い合わせ先：福岡県立自治大学校事務局 TEL: 042-545-4310 FAX: 042-545-4310 MAIL: info@fukuoka-u.ac.jp

立川市・自治大学校
市民公開講座

特別講演 夢に向かって走る

猫ひろし

マラソンカンボジア代表選手
(2016年リオ五輪出場)
お笑いタレント
(WAGAHAMA)

開催日時
2月6日(木) 18:30～20:00
@福岡県立自治大学校・大教室 開場 18:00

申込方法
先着約100名(参加費無料)
@info@fukuoka-u.ac.jp or FAX
氏名・連絡先明記 1月28日(火) まで

お問い合わせ先：福岡県立自治大学校事務局 TEL: 042-545-4310 FAX: 042-545-4310 MAIL: info@fukuoka-u.ac.jp

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 メリティナ・スタニウタさんトークショー

日時	令和元 (2019) 年 10 月 14 日
場所	東京女子体育大学 藤村総合教育センター
内容	

「東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座～東京 2020 オリンピック・パラリンピックプロジェクト」として、同大学の秋山エリカ教授をコーディネーターに、新体操の元ベラルーシ代表オリンピックであるメリティナ・スタニウタさんが特別ゲストで招かれ、「Never Give Up! ～世界で戦うアスリートとして美を求め続けて～」をテーマにトークショーが開催されました。

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座

日時 令和元年 10 月 14 日 (月・祝日)
開場 13:30 講演 14:00～16:00

場所 東京女子体育大学 藤村総合教育センター

内容 Never Give Up!
～世界で戦うアスリートとして美を求め続けて～

特別ゲスト **メリティナ・スタニウタ**

新体操選手、ベラルーシ代表、オリンピック
メダリスト

講演内容
1. 新体操選手としての経験
2. ベラルーシ代表としての経験
3. オリンピックメダリストとしての経験
4. 世界で戦うアスリートとしての経験
5. 世界で戦うアスリートとしての経験

コーディネーター 秋山エリカ教授 (東京女子体育大学)



モザイクアートプロジェクト

市民一丸となってコロナ禍を乗り越えるためのメッセージの発信と、東京2020大会に向けた気運醸成を目的に、市民や関係団体から笑顔の写真を募集し、2種類のモザイクアートを作製、聖火リレーを応援するため横断幕を掲出しました。

【主な取り組み】

○事業周知、写真の募集

広報たちかわ（令和2（2020）年12月25日号）、ホームページ、ツイッターを通じて事業を周知し、笑顔の写真を募集。一般募集635枚、関係団体等からの提供133枚、計768枚の写真が集まりました。

○ホームページで公開（令和3（2021）年3月25日から）



○「Ver. 2」をホームページで公開（令和3（2021）年4月30日から）

公開済みのモザイクアートと同じデザインで、よりアート感を加えた「Ver. 2」を作製し、ホームページで公開しました。



○横断幕の掲出

モザイクアートのデザインにより作製した横断幕は、オリンピック聖火リレーが市内を走行する令和3（2021）年7月12日に沿道に掲出する予定でしたが、公道走行が中止となったため、窓口サービスセンター（7月12日から8月19日）や市役所（8月26日から）に掲出しました。



窓口サービスセンター



市役所2階渡り廊下

3 展示の実施

東京 2020 大会の気運醸成を目的に、関係団体等と協力し、公共施設（市役所や窓口サービスセンター、中央図書館、市民体育館、競輪場等）を活用してオリンピック・パラリンピックに関連した展示を行いました。

- 東京 1964 大会関連展示
- 長野 1998 大会関連展示（大町市協力）
- 東京 2020 大会気運醸成展示
- 立川市と東京女子体育大学にゆかりのあるアスリート関連展示
- ベラルーシ新体操チーム関連展示
- 市にゆかりのある選手を紹介、応援する展示
- オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチ巡回展示（※再掲・P.29 参照）
- 展示～東京 2020 大会を振り返る～ ほか ※詳細は資料編 P.92 参照



東京 1964 大会関連展示



長野 1998 大会関連展示



東京 2020 大会気運醸成展示



ベラルーシ新体操チーム関連展示



市にゆかりのある選手を紹介、
応援する展示



展示～東京 2020 大会を振り返る～

4 東京 2020 エンブレムや東京 2020 マスコットの活用

東京 2020 エンブレムや東京 2020 マスコットを様々な形で市域に掲出し、祝祭感を醸成しました。また、市民に身近な泉市民体育館と市役所 1 階「C a f é はあもにい ♪」で東京 2020 公式オリジナル商品を販売し、大会の運営やアスリートの育成に貢献するとともに、大会への参加意識を醸成しました。

取り組み	詳細
東京 2020 エンブレムの活用	P. 36
東京 2020 マスコットの活用	P. 37
東京 2020 公式オリジナル商品の販売	P. 37
シティドレッシング（街の装飾）	P. 38
JOC オリンピック支援自動販売機の設置	P. 39

東京 2020 エンブレムの活用

- ポスターやのぼり旗、横断幕等の掲出（公共施設やイベント等）
- ピンバッジの配布
- 職員用名刺や封筒の作製
- カウントダウンボードの掲出
- オリンピック・パラリンピック公式はっぴの貸出
- うちわの配布 ほか



横断幕の掲出



カウントダウンボードの掲出

東京 2020 マスコットの活用

○「マスコット投票宣言」の実施（平成 29（2017）年 11 月）

全国の小学校で東京 2020 マスコットを選ぶための受付が始まることに伴い、投票への参加を促進するため、マスコット投票宣言を行いました。

○「2020 賞」の受賞・東京 2020 マスコットの第十小学校への訪問

東京 2020 マスコット小学生投票に参加した小学校等から 2020 校ごとに選ばれる「2020 賞」に第十小学校が当選（全体 8080 校目の投票）し、受賞 8 校の一つとなりました。

平成 30（2018）年 10 月 25 日には、「2020 賞」を受賞した第十小学校を東京 2020 マスコットの「ミライトワ」「ソメイティ」が訪問してくれました。



東京 2020 マスコットが登場し、
子どもたちの歓声に包まれる会場



ミライトワやソメイティ、
オリンピックの伊藤華英さんと

○東京 2020 マスコット横断幕の掲出

東京 2020 マスコット横断幕を作製し、市役所 2 階渡り廊下等に掲出しました。

○東京 2020 マスコット像の移設

オリンピック・パラリンピックの聖火リレーを記念して子ども未来センターに設置を予定していた銘板に合わせ、東京都が国営昭和記念公園に設置した東京 2020 マスコット像の移設を計画していましたが、聖火リレーの公道走行中止に伴い、移設を断念しました。



国営昭和記念公園に設置された
東京 2020 マスコット像

東京 2020 公式オリジナル商品の販売

市民に身近な泉市民体育館と市役所 1 階「C a f é はあもにい ♪」で東京 2020 公式オリジナル商品を販売し、大会の運営やアスリートの育成に貢献するとともに、大会への参加意識を醸成しました。

シティドレッシング（街の装飾）

東京 2020 大会の祝祭感を創出し、訪れた方々の記憶に残るよう、立川駅周辺に街の装飾を行いました。また、立川市商店街振興組合連合会や商店街のご協力により、街路灯等にフラッグが掲揚されました。加えて、聖火リレールートの一部となるサンサンロードのモノレール支柱に、聖火リレーデザインの装飾を行い、聖火リレーと東京 2020 大会へ向けた気運を醸成しました。

【主な取り組み】

○サンサンロード北側街路灯にフラッグの吊り下げ具を設置

（令和 2（2020）年 1 月）

サンサンロード上の街路灯の内、吊り下げ具が設置されていなかった街路灯 28 本に新たに吊り下げ具を設置し、サンサンロード全体にフラッグが掲揚できるようにしました。

○商店街フラッグの掲揚（令和 2（2020）年 1 月～令和 3（2021）年 9 月）

立川市商店街振興組合連合会や商店街のご協力により、街路灯等にフラッグが掲揚されました。また、サンサンロードにおいても、市で設置した吊り下げ具も活用し、フラッグの掲揚が実施されました。



市内商店街のフラッグ掲揚



サンサンロードのフラッグ掲揚

○J R立川駅周辺の装飾（シティドレッシングデザイン）

（令和 3（2021）年 4 月 30 日～9 月 6 日）

J R立川駅周辺のペDESTリアンデッキ上に装飾を施しました。駅北側デッキに横断幕 66 枚、南側デッキに横断幕 67 枚を掲出するとともに、南側デッキ上のエレベーター筐体をシートでラッピングする装飾を実施し、駅周辺における祝祭感を創出しました。



横断幕の掲出（立川駅北口周辺）



横断幕の掲出、エレベーター筐体のラッピング（立川駅南口周辺）

○多摩都市モノレール支柱の装飾（聖火リレーデザイン）

（令和3（2021）年5月2日～8月9日）

オリンピック聖火リレーのルートとして聖火リレーの走行が予定されていたサンサンロードにおいて、多摩都市モノレールの支柱4本に、聖火リレー実施日を記載したオリンピック聖火リレーデザインの装飾を施しました。



ＪＯＣオリンピック支援自動販売機の設置

令和元（2019）年8月から、オリンピックを目指すトップアスリートの強化や、オリンピックムーブメントの推進を支援する自動販売機を、市役所のほか体育施設3か所に設置し気運を醸成しました。

なお、自動販売機の売り上げの一部はＪＯＣ（公益財団法人日本オリンピック委員会）に寄付され、夏季オリンピック実施競技団体の選手強化及びオリンピックムーブメントの推進に活用されています。

【設置場所】

- ・市役所1階 正面玄関
- ・泉市民体育館
- ・泉町庭球場
- ・見影橋公園野球場



市役所1階正面玄関

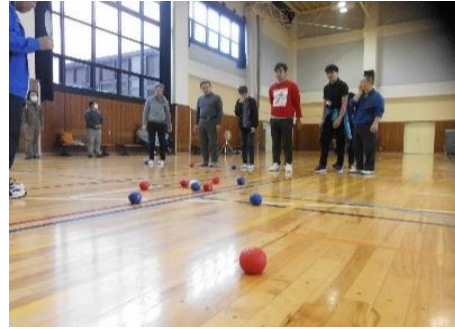
5 東京 2020 参画プログラムの活用

東京 2020 大会に向けた気運醸成や大会後のレガシー創出を目的とし、認証を受けることで「オリンピック」「パラリンピック」などの文言を使用することができるようになる東京 2020 参画プログラムを活用して各イベントを行いました。

※詳細は資料編 P. 94 参照



泉市民体育館まつりにおける
スポーツ教室



泉市民体育館における
障害者スポーツ教室



おもてなしボランティア
フォローアップ研修



図書館における「立川市・東京女子体育
大学にゆかりのあるアスリート」展示

参画プログラム貢献への感謝状受領

市の活動が参画プログラムに多大なる貢献をしたとして、組織委員会の橋本聖子会長より、感謝状をいただきました。

